



国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所

海上技術安全研究所 国際会議報告



会 議： 国際標準化機構（ISO）船舶及び海洋技術専門委員会（TC 8）救命及び防火分科委員会（SC 1）、同救命作業部会（WG 1）、その他の安全設備作業部会（WG 2）、防火作業部会（WG 3）、サイバーセイフティー作業部会（WG 6）東京会合

開催場所： 海上・港湾・航空技術研究所 海上技術安全研究所

会議期間： 2017年5月23日～25日

参加者： オブザーバーとリエゾンを含む11機関より47名

海技研からの出席者：

太田 進：国際連携センター長

宮崎 恵子：運航・物流系運航解析技術研究グループ長

丹羽 康之：運航・物流系運航解析技術研究グループ上席研究員

木村 新太：海洋リスク評価系リスク解析研究グループ主任研究員

菊池 麗子：国際連携センター研究補助員

概要

- ISO/TC 8/SC 1（以下、SC 1 と記す。）は ISO 17339「生存艇及び救助艇のシーアンカー」の改正案及び「ISO 15738 膨脹型救命設備のガス膨脹装置」の改正案の内容に概ね合意し、プロジェクトリーダー（当所宮崎）に、最終案の作成を指示した。
- SC 1 は ISO 19891-1「船上用閉囲区域空間検査用可搬型ガス検知器」の規格案に合意し、DIS 投票に付することに合意した。

主な貢献

太田及び宮崎は、救命設備に係る審議（WG 1）に参画し、各種規格案の審議に貢献した。また宮崎は、プロジェクトリーダー（PL）として2件の規格案の作業の進捗に貢献した。また太田は、国際海事機関（IMO）船舶設備（SSE）小委員会の議長として、IMOにおける審議に関する事項について各種の助言を行った。

丹羽は、サイバーセイフティーに係る審議（WG 6）に参画し、規格草案の審議に貢献した。

木村は、火災安全に係る審議（WG 3）に参画し、各種規格案の審議に貢献した。

菊池は、その他の安全設備（Miscellaneous Safety Equipment）に係る審議（WG 2）に参画し、パイロットラダーの規格案の見直しに係る審議に貢献した。



ISO/TC 8/SC 1 東京会合参加者



主な審議結果

全体会合は初日の午前中と最終日（三日目）に開催された。各 WG は、初日の午後、二日目終日、及び三日目の朝に並行して開催された。なお、今次会合では予定されていた落水検知システムの規格案を審議するグループは開催されなかった。

1 救命設備（WG 1）関係

1.1 ISO 17339 生存艇及び救助艇のシーアンカー（改正）

WG 1 は、PL（宮崎）が作成した改正規格案を審議し、内容について概ね合意した。合意できなかった材料試験については、本件に関する意見を提出した米国の回答を得てから PL が修正案を用意し、次回会合で審議することに合意した。

1.2 ISO 15738 膨脹型救命設備のガス膨脹装置（改正）

WG 1 は、PL（宮崎）が作成した改正規格案を審議し、内容について合意した。PL が修正を確定した上で構成を見直した文書を用意し、次回会合で審議することに合意した。

1.3 ISO 18079 シリーズ「膨脹式救命設備の整備」

本シリーズ規格は国際規格案（DIS）投票を終了しているが、ISO/IEC 17000「適合性評価—用語及び一般原則」に基づく各種用語の修正について、ISO 中央事務局より検討を要請されていた。審議の結果小委員会は、IMO の用語との整合性を優先し、用語の修正は行わないことに合意した。今後、最終国際規格案（FDIS）の投票実施に進む予定である。

2 その他の安全設備（WG 2）関係

WG 2 は、ISO 799「パイロットラダー」の改正規格案について詳細に審議した後、案を作成した。SC 1 は、この改正規格案を DIS 投票に付することに合意した。

3 火災安全（WG 3）関係

WG 3 は、日本船舶技術研究協会松本氏を PL として開発を進めてきた ISO 19891-1「船上用閉囲区域空間検査用可搬型ガス検知器」¹の規格案に合意し、DIS 投票に付することに合意した。また、ISO 17631「船舶救命設備、退船設備、消防設備、防火構造及びダメージコントロールプランの図記号」について検討した。

4 サイバーセーフティー（WG 6）関係

2016年9月開催のISO/TC 8総会で設置に合意したWG 6が、初めて開催された。WG は、今後の作業の進め方について審議するとともに、サイバーセーフティーの規格草案について審議し、新規作業計画に係る投票の準備を整えた。

5 次回会合

次回 SC 1 の会合は、来年5月にパナマで開催することが基本的に合意された。また、WG 1 の中間会合は本年11月頃にフランスのボルドーで開催することが基本的に合意された。

¹ 公開仕様書（PAS: Publicly Available Specification）として発行済み。